1月に向けて

代表取締役　三田雅憲

　寒さ厳しくなる今日この頃、皆様インフルエンザやコロナが流行しておりますので、十分体調管理に注意してください。
　今年1年を振り返ってみて、中堅者の仕事に対する熱量が増えてきたように思うことと、新入社員の同じく仕事に対する追究心やチャレンジが本当に素晴らしく、今までにない会社の雰囲気になってきたように強く感じました。
ここ数年、コロナ禍の影響もあり、厳しい経営が続いておりましたが、工場の生産性の向上や無駄を少しでも無くすような取り組みが、少しずつ効果をもたらしていると思います。営業も既存のお客様に対する対応や新規の顧客に対する対応、新しいパンフレットや総合カタログの配布より、設計事務所からの問い合わせも増えてまいりました。今後は過去のお客様の掘り起こしに力を入れていきます。
事務部門においては、事務のDXがスタートし、様々な事務対応が瞬時に出来るようになり、仕入を始め請求業務に関しても劇的に業務時間が短縮されたと思います。今後は総務人事や営業サポート業務なども今以上に対応していってくれるものと期待しております。
会社の成長は役職者や社員の成長にリンクしていると言われますが、そのことを本当に実感しております。
来年2024年にも新しい新入社員が、当社の仲間として4月より入社してくれます。つまり今新人の方を含め、すべての社員が先輩となる訳です。それまでは許されていたことも許されなくなるかもしれません。甘えていたことも甘えられなくなるかもしれません。しかし、自分が教えてもらった仕事や人間としての行動などを次の後輩に繋げていくことも大切な仕事になってきます。
また今まで自分がやってきた仕事を下の後輩に伝え渡し、自分が新しい先輩のやられていた仕事にチャレンジすることも大切になってきます。
ぜひ、光栄プロテックという会社の一員として、仕事と人間性を高めるために頑張っていってもらいたく思います。
またお盆から休職していたH君が25日より復職することになりました。ご家族を始め、当社の同僚、先輩、後輩すべてに心配をかけたことは事実ですが、未来に向けてぜひ頑張って信頼されるように期待をしています。皆さんの応援もよろしくお願いします。
　最後に当社のWEBサイトでも公示いたしましたが、枚方市の「ネーミングライツパートナー」として2024年の4月より、王仁公園のテニスコートが「光栄プロテック王仁公園テニスコート」としてスタートいたします。色々な方の尽力と、事務所は若手社員の協力で厳正な審査の結果、採択して頂きました。社員の中にはピンとこない人もいるかもしれません。しかし、行政よりこのような権利を付託されることは非常に名誉なことなのです。誇りを持って頂きたく思います。
　1月からも大阪、千葉両工場においては仕事が目白押しになっておりますが、1人1人が自分の力を十二分に発揮して目標の達成ができることを願っております。